

全日病発第391号  
平成 28 年3月12日

各 位

公益社団法人 全日本病院協会  
会 長 西 澤 寛 俊  
医 療 従 事 者 委 員 会  
委員長 井 上 健一郎

### 平成 28 年度「第 15 回病院事務長研修コース」の開催について

平素より全日本病院協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度当協会医療従事者委員会では今年度に引き続き、病院事務長研修コースを開催する運びとなりました。

当研修は病院事務長を対象として毎年開催しており、今回の開催で第 15 回目を迎えます。カリキュラムは、医療行政の動向や医療会計制度、院内コミュニケーション、定員管理と業務再設計、経営計画策定など多岐に亘り、約 8 ヶ月（月 1 単位、全 8 単位）をかけて研修を行い、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

また受講生には、当研修を通じて習得した成果を最大限に活用し、上司の皆様とのコミュニケーションの一助とする為に、3 回程度、受講生から上司の方に対する受講報告を予定しております。上司の方におかれましては、お手数をお掛けしますが、受講生に対するコメントの記載をお願いしております。

尚、詳細につきましては、今回同封いたしますパンフレットをご高覧いただき、是非ともご参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加をご希望の方は、**5月9日（月）まで**に F A X にて参加申込書をご送付ください。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

＜お問い合わせ先＞ 公益社団法人全日本病院協会 病院事務長研修コース担当 上田・松村 〒101-8378 東京都千代田区猿樂町 2-8-8 住友不動産猿樂町ビル 7 階 TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444 ホームページ <a href="http://www.ajha.or.jp/">http://www.ajha.or.jp/</a>
---

## 第15回 病院事務長研修コース 参加のお勧め (病院管理士認定)

公益社団法人 全日本病院協会

会 長 西澤寛俊

全日本病院協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動をしております。

さて、昨年には医療介護総合確保推進法に基づき、各都道府県において病床機能報告制度等のデータを活用した地域医療構想の策定が進められ、更に医療事故調査制度や看護師特定行為研修等の新たな制度もスタートしました。また、本年4月の診療報酬改定では、7対1入院基本料等の重症度、医療・看護必要度は大きく変更され、病棟群単位の届出の導入、医療機能の分化・強化・チーム医療の推進、医療従事者の負担軽減、地域包括ケアシステム推進のための取組強化等を目的とした種々の改定が行われました。これらの背景を考えると、いままさに各病院がこれからも存続していけるかどうかの正念場と言える状況にあるのではないかと思います。その一方で、病院の経営環境如何にかかわらず、国民からは、常に安全で質の高い、安心できる医療の提供を求められております。

こうした状況下においては、医療機関の経営の一翼を担う事務長職の役割が非常に重要となると考えております。事務長には、当該業務に係る必要な基本知識はもとより、情報や質の管理にいたる幅広い分野にわたっての見識とマネジメントスキルが求められ、地域における医療提供の将来像を見すえた経営改革を提起し、経営計画の策定、そしてそれを実際に現場で実行していく能力を高めていくことが期待されております。

今年で第15回を迎える本研修のカリキュラムは、病院経営に必要な基本知識から、医療会計制度の現状、事務長として必要なコーチングとファシリテーションの基礎と応用、院内業務の再設計、経営改革計画の策定、共通課題検討など、事務長職に必要とされる幅広い分野を網羅し、過去の受講生の声を反映させながらカリキュラムを更新しており、より実践的な能力を身につけることができる内容となっております。

本研修では、職能練磨のための講義・演習等を行い、全受講生が「自院の経営計画」を策定し、その経営計画を実行する上での課題を共通課題として検討します。さらに、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

各病院におかれましては、すでに事務長の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために、皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。



# 公益社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会



## 第15回 (平成28年度) 病院事務長研修コース (病院管理士認定)

### 受講のご案内

#### ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

#### 受講要件

- 受講者は現在所属している施設での職歴1年以上の病院事務長、またはこれに準ずる職歴2年以上の経験を有する方で、理事長・院長が適格と認めた方であること(各施設1名)。
- 受講者は研修会において自院の経営健全化計画を作成する為、自院の経営指標や財務諸表及び経営情報を研修会内において開示が可能であり、理事長・院長に経営戦略を提言できること。

- 開講期間/平成28年5月～平成29年1月  
全8単位、各単位2～3日間、1日目13時～最終日15時まで
- 受講料金/全日本病院協会 会員施設職員 1ヵ年・全8単位 420,000円(税込:453,600円)  
全日本病院協会 非会員施設職員 1ヵ年・全8単位 520,000円(税込:561,600円)  
※一部の宿泊費及び一部の食事代を含みます。
- 病院管理士認定について/  
本研修では、以下の要件を満たした方を病院管理士として認定いたしております。
  - 評価試験に合格すること。
  - 全8単位中、7単位以上出席すること。欠席は1単位のみ可としますが、第6単位～第8単位の受講は必須とします。
- 受講定員/48名
- 研修会場及び宿泊施設
  - 第1単位 ホテルヴィラフォンテーヌ東京汐留  
〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2汐留住友ビル内 TEL03-3569-2220  
【アクセス】○汐留駅(ゆりかもめ)改札を出て右方向へ。歩行者デッキを通り、汐留住友ビル2F入口より徒歩1分  
○汐留駅(都営大江戸線)ゆりかもめ汐留駅方面の改札を出て10番出口方向へ進み、汐留住友ビル地下入口より徒歩1分  
○新橋駅(JR、銀座線、都営浅草線)汐留口より出て、シオサイト方向(地下1階)へ進み、大江戸線汐留駅10番出口方向へ徒歩6分
  - 第2単位～第6単位・第8単位 全日本病院協会 大会議室  
〒101-8378 東京都千代田区猿樂町2-8-8住友不動産猿樂町ビル7階 TEL03-5283-7441  
【アクセス】○JR線・都営三田線「水道橋駅」東口より徒歩4分  
○半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」出口A4より徒歩8分  
○JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩10分
  - 第7単位 LMJ東京研修センター 5階特大会議室  
〒113-0033 東京都文京区本郷1-11-14 TEL03-5842-6690  
【アクセス】○JR線「水道橋駅」東口より徒歩6分  
○都営三田線「水道橋駅」出口A6より徒歩3分
- ※第2単位以降に宿泊が必要な場合は、各自でご手配ください。  
※禁煙室・喫煙室はご希望に添えない場合がございます。
- 申込締切/平成28年5月9日(月) ※定員に達し次第、受付を終了させていただいております。



# 公益社団法人 全日本病院協会

# 評価試験合格者には、全日本病院協会が『病院管理士』の認定証を発行

## 事務長基本講座

## 病院改革計画策定実習

**第1単位**  
平成28年5月21・22日  
(2日間)

**■病院経営概論**  
医療行政の動向を踏まえ、病院経営管理者としての事務長の果たすべき役割を認識します。また、事務長としての役割を全うするために必要な論理的思考法を学びます。加えて、各事務長間の交流を深め、相互研鑽を図ります。

■内容：医療制度改革と病院の対応方向、事務長に求められる役割と能力、よい事務長の条件、問題解決の思考プロセス、病院経営実態調査結果に基づく現状の問題点、マネジメント課題 他

**■病院改革の基本的考え方**  
病院経営改革の基本構成とその策定方法を学びます。将来構想を実現する課題解決と現在の問題を解決するためのプロセスを理解します。様々な場面での議論を活発にして、意義あるものにするためのディベート視点を実習で学びます。

- ・病院改革の考え方
- ・問題解決の基本
- ・課題解決の基本
- ・ディベート実習

**第2単位**  
平成28年6月18・19日  
(3日間)

**■院内コミュニケーション**  
院内コミュニケーションの円滑化と職場の活性化に向け、事務長として必要な『コーチングとファシリテーションの基礎と応用』について、演習を中心に習得します。縦割り組織の中での有効なコミュニケーションのスキルを身につけます。

■内容：マネージャーに求められる人間関係構築スキル、聴き方、コミュニケーション、職員の動機づけと職場活性化、コーチングの基礎・応用、会議設計とファシリテーション 他

**■病院将来構想**  
自院の将来におけるありたい姿を構想します。ありたい姿の構想にあたり、医療や介護を取り巻く環境の情勢を数値で認識します。構想の検討にあたり、医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、戦略の基本方向を設定します。

- ・医療の環境情報
- ・介護の環境情報
- ・法人の将来構想
- ・病院の将来構想

**第3単位**  
平成28年7月22・23・24日  
(3日間)

**■経営戦略と組織管理**  
経営戦略の体系と戦略実現のための組織管理のあり方を学びます。病院の経営を考えるときに、最上位の経営理念から、ビジョン、戦略、経営計画という戦略体系の流れを理解します。そして、構築した戦略を実現するための組織の設計と統制の方法を学びます。

■内容：経営理念、行動規範、ビジョン、経営戦略、事業戦略、ビジネスモデル、経営計画、業績管理、組織設計、ホールディング化、方針管理、部門別日常業務管理、事業承継、BCP 他

**■病院外部環境分析**  
自院において構想した医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、自院を取り巻く診療圏における人口の動向や競合施設の動向を定量的に分析します。人口動態や社会環境変化などのマクロ環境と患者の動態や診療圏、競合施設などのミクロ環境を分析します。

- ・法人・病院将来構想
- ・組織構想
- ・マクロ/ミクロ環境
- ・診療圏分析

**第4単位**  
平成28年8月19・20・21日  
(2日間)

**■病院における財務会計と管理会計**  
病院経営の基礎となる医療会計制度の基本を学びます。事務長に求められる財務の基本を学び、財務指標を通じて、病院経営の実態を理解して、改善すべき点を特定できるようにします。具体的には、制度会計の分析を通じて病院の問題点の抽出と改善検討を行います。

■内容：財務諸表の構造の理解、財務3表（PL、BS、CS）の関連、財務指標の構造と分析視点、損益分岐点分析、予算管理、投資対効果評価、診療科別収支計算 他

**■病院内部環境分析**  
自院の財務指標を統計値やグループメンバーの病院と比較して、分析します。自院の収支の実態を構造的に整理して、収支改善の余地を検討します。また、病院経営に影響を与えるマクロとミクロの環境を分析します。自院の内部環境を、病院機能と経営資源、組織風土の3側面から分析します。

- ・財務指標分析
- ・経営機能分析
- ・経営資源分析
- ・組織風土分析

**第5単位**  
平成28年9月23・24・25日  
(3日間)

**■人材マネジメントと病院管理機能**  
事務・管理部門で求められる病院の管理機能について習得します。人材マネジメントの全般、患者の獲得を目指したマーケティングの基本、就業規則や病院法務、リスク管理や危機管理、病院としての広報について学びます。

■内容：定員設定、人材育成、人事評価、等級制度、賃金制度、ナレッジマネジメント、ABC人材マネジメント、広報、法務3類型（治療法務・予防法務・戦略法務）、就業規則 他

**■課題設定**  
法人の将来像、その将来像における病院の将来像を明確にします。病院の将来像を実現するための課題を整理します。マクロやミクロの環境分析の結果から導き出される課題や診療圏分析によって導き出される課題も整理します。将来構想や整理した課題を目で見てわかるように整理します。

- ・戦略基本方向設定
- ・将来構想実現課題
- ・環境分析課題
- ・将来構想図解化

**第6単位**  
平成28年10月15・16日  
(2日間)

**■総合テスト**  
事務長基本講座の第1単位から第5単位までの内容の適用力を確認するためのテストを行います。テストには、単位別テストと全単位全体の適用力を確認する総合テストの2種類があります

■内容：財務諸表の構造の理解、財務3表（PL、BS、CS）の関連、財務指標の構造と分析視点、損益分岐点分析、予算管理、投資対効果評価、診療科別収支計算 他

**■病院将来構想の発表と共通課題設定**  
自院の将来構想、戦略の基本方向、その実現のための課題で構成する自院の改革計画について相互発表を行い、代表者は全体発表します。全受講者の課題の中から、共通する課題を8つ選定して、課題別に班を編成します。以後は、共通課題を検討していきます。

- ・病院構想全体発表
- ・医療行政最新動向
- ・共通課題の設定
- ・共通課題の班編成

**第7単位**  
平成28年11月19・20日  
(2日間)

**■総合テスト**  
事務長基本講座の第1単位から第5単位までの内容の適用力を確認するためのテストを行います。テストには、単位別テストと全単位全体の適用力を確認する総合テストの2種類があります

■内容：財務諸表の構造の理解、財務3表（PL、BS、CS）の関連、財務指標の構造と分析視点、損益分岐点分析、予算管理、投資対効果評価、診療科別収支計算 他

**■改革計画提出と共通課題検討**  
共通課題は、受講者全員が自院に持ち帰って、活用できるように検討し、整理します。そのため、病院の種別や特性を踏まえた課題の解決方法策を幅広く考えます。加えて、第三者がみれば、共通課題をどのように解決すればよいか分かるように整理します。

- ・改革計画提出
- ・共通課題の構造化
- ・汎用的解決策立案
- ・わかりやすい資料構成

**第8単位**  
平成29年1月21・22日  
(2日間)

**■総合テスト**  
事務長基本講座の第1単位から第5単位までの内容の適用力を確認するためのテストを行います。テストには、単位別テストと全単位全体の適用力を確認する総合テストの2種類があります

■内容：財務諸表の構造の理解、財務3表（PL、BS、CS）の関連、財務指標の構造と分析視点、損益分岐点分析、予算管理、投資対効果評価、診療科別収支計算 他

**■病院共通課題の全体発表**  
1日目は、病院共通課題に関する全体討議を行い、課題解決策を汎用的なものに仕上げ、さらに、第三者が見ても分かるようにします。2日目は、共通課題の検討内容を全員に発表して、講師の講評に基づいて解決策の幅広い視点を学びます。

- ・共通課題の仕上げ
- ・共通課題の発表
- ・共通課題の共有



●講師は変更になる場合があります。 ●全8単位修了者には修了証、評価試験合格者には病院管理士の認定証を発行いたします。



医療法人財団  
立川中央病院  
石田 秀一

### チャレンジ意欲が湧く研修でした

この研修で一番印象に残っているのは、課題解決を検討する場合、視点の違いで将来が大きく変わることです。現状起点では目標が曖昧になり実行に至りにくいが、将来起点にすると、目標が明確になり実行を誘導するということでした。私たちはこれから、世界でも例のない超高齢化社会を迎えます。その社会に向け大切なことは、過去の形式や前例にとらわれず、発想を転換し、柔軟に対処していく知恵を持つことだと考えます。それはまさしくこの研修で教えていただいたことであります。未来に向けてチャレンジです！



社会医療法人全仁会  
倉敷平成病院  
板谷 尚昌

### 『正味』の研修

医療・介護の知識を深めるため、法人からは様々な研修に参加する機会を与えていただき、今回この事務長研修にも参加させていただきました。過去の研修では、多くを学び、多くのものを得ることができましたが、どう業務に生かし、また改革に繋げるか悩み、モヤモヤしたこともありましたが、この事務長研修はそうではありませんでした。

基礎知識や考え方を学ぶとともに、実務への生かし方、グループワークで問題解決の多くのヒントや手法を学ぶといった、私のモヤモヤを払拭するまさに『正味』の研修でした。

これは熱心に指導して下さる先生、献身的な事務局の方、そして同じ志を持った仲間がいて、初めて成り立つものであると思います。

この研修に関わっていただいたすべての方に心より感謝申し上げます。



医療法人社団明生会  
セントラル病院  
風間 宏幸

### 恐怖から歓喜へ

今回当法人から初めての参加で全く右も左も解らずのまま初日を迎えました。そして初回研修から宿題や次回理解度テストがあるとの説明を聞き恐怖を覚えました。しかし何故か？私が14代同窓会会長に抜擢されまして、皆様との夜研修を企画しながら毎回交流していく内にこの研修が歓喜に変わっていった感じがしました。実際最初は辛い日々ですが後半は「後何回で終わってしまうのか～寂しいね…」という声も多かったです。今回私を支えてくれた副会長2名と、素晴らしい講師の皆様方、事務局の方、そして14期同期生の皆様に感謝の意を表したいと思います。皆様有難う御座いました！



医療法人社団永生会  
南多摩病院  
木下 力

### 将来を見据えた自分を見つめ直す機会に

事務長研修は今まで外部で学ぶことの少なかった基礎や概略、応用や詳細に至るまで組織管理、経営戦略を考える上での様々な知識を得ることができる研修でした。

研修期間中は日々の業務の上に多数の課題と理解度テストへの学習が重なり、負担を感じていましたが、主体的に行わざるを得ない内容が身になり、様々な意味で将来を見据えた自分を見つめ直すよい機会になったのだと今では振り返ることができます。その中で一番の成果は知識、情報、スキルやノウハウ以上に研修で培った論理的思考が日々の業務に意識できるようになったことではないかと思っています。

講師陣をはじめ事務局の方々、参加者の皆様、本当にありがとうございました。



医療法人博愛会  
牧港中央病院  
饒平名 美千与

### 研修中に経営改善！

看護部長から事務長へ就任し、「事務長が果たすべき役割とは？」の答えを得るべく、この研修に参加させていただきました。

研修では、事務長として必要な基礎知識を学んだことはもちろん、自院の将来像を構想しながら、事前事後課題のワークを通して、自院の問題・課題を明らかにすることができました。グループワークの共通課題テーマ「病床再編」を、実際に自院で活用し、研修中に一般病床からハイケアユニット病床への再編を実現、経営改善できたことは大きな収穫です。

池上教授をはじめ、講師の先生方および事務局の皆様、本当に有難うございました。また、この研修を共に過ごした14期生皆様のご支援に、心から感謝致します。

全日病学会での、皆様との再会を楽しみにしております。